

## 第5章

# 生命保険業界の財務データ

## 財務成績

### 生命保険分野

伝統的な生命保険は、もはや生命保険業界に分類される多くの企業にとって主力商品でなくなっている。2018年の元受収入保険料においては、48%を占める年金の引受けに重点が移った。年金とは、資金を積立て、定期的に定額または変額において年金給付を行う契約であり、支給期間は、有期のものもあれば、契約者または受益者の終身にわたるものもある。傷害・健康保険は、伝統的な健康保険は別にすると特色ある商品構成となっており、元受収入保険料の27%を占めている。個人向けのユニバーサル生命保険や定期保険、団体生命は、生命保険会社の重要な業務であることに変わりなく、元受収入保険料の25%を占めている。年金、傷害・健康保険、生命保険商品以外にも、資産管理などその他の金融サービスを提供している生命保険会社もある。

このセクションには含まれておらず、生命保険とはみなされない伝統的な健康保険は、[民間健康保険](#)に記載されている。健康保険の給付は、健康保険プランの範囲内で、被保険者が受けた外来診療、外科、医療サービス、および日常的、予防的なケアに対して支払われる。利用可能な多くの健康保険プランでは、自己負担の設定があり、給付金は非課税となっている。

傷害・健康保険は、生命保険と損害保険に含まれており、入院、雇用に基づく短期・長期の就業不能、長期介護、重症化疾病に対する給付など、健康に関連するさまざまな特殊商品を含んでいる。医療保険は、傷害・健康保険に取って代わるものではない。

### 2018年の財務成績

S&P Global Market Intelligence 社によれば、2018年、生命保険業界の純利益は、2017年の421億ドルから10%減少し、379億ドルとなった。キャピタル・ゲイン調整前純利益は2017年から15.8%減益となったが、キャピタルロスが減少し47億ドルであったため、純利益の減少に貢献した。2018年の保険料および年金掛金収入は、年金保険料と預託金が6.1%低下したことから、2017年から1.3%のわずかな上昇となった。

費用は10.8%増加した。同社によれば、資本および契約者剰余金は2017年の3,949億ドルから2018年は4,000億ドルに増加した。

## 5. 生命保険業界の財務データ 財務成績

### 生命保険業界の損益計算書：2014年～2018年（単位：十億ドル、年末時点）

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2017年から 2018年への 増率 <sup>1</sup> (%)
<b>収益</b>						
生命保険料	133.9	151.4	115.0	137.1	145.4	6.0
年金保険料および預託金	352.8	324.0	318.5	287.2	269.7	-6.1
傷害・健康保険料	156.6	158.8	162.8	169.3	184.2	8.8
信用生命保険および信用傷害・健康保険料	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	4.1
その他の保険料、掛金	2.6	2.5	2.2	2.1	4.0	90.1
<b>保険料、掛金、預託金合計</b>	<b>647.3</b>	<b>638.2</b>	<b>599.9</b>	<b>597.1</b>	<b>604.6</b>	<b>1.3</b>
純投資収益	171.7	170.8	173.0	182.3	187.4	2.8
出再に伴う準備金調整額	-15.0	-86.4	-17.0	-25.1	32.0	NA
分離勘定収益	34.3	35.2	34.7	36.6	37.3	2.0
その他収益	39.7	90.5	61.3	49.0	44.0	-10.2
<b>総収益</b>	<b>878.0</b>	<b>848.2</b>	<b>851.9</b>	<b>839.8</b>	<b>905.4</b>	<b>7.8</b>
<b>費用</b>						
保険給付金	251.8	263.9	271.4	281.4	290.7	3.3
解約払戻金	281.5	273.0	265.1	308.9	350.3	13.4
準備金繰入	108.7	80.5	133.1	106.4	143.4	34.8
分離勘定繰入	-16.5	36.9	-38.0	-65.8	-89.6	NA
手数料	52.1	55.5	64.6	58.0	58.4	0.6
一般管理費	59.0	60.1	62.4	65.9	66.0	0.1
保険税、免許料、その他手数料	10.0	10.5	10.8	8.8	10.8	22.0
その他の費用	66.0	-4.9	-2.7	-4.3	11.3	NA
<b>費用合計</b>	<b>812.5</b>	<b>775.5</b>	<b>766.6</b>	<b>759.3</b>	<b>841.1</b>	<b>10.8</b>
<b>純利益</b>						
契約者配当金	16.4	18.3	18.2	17.5	18.2	4.0
連邦法人税控除前純営業利益	49.0	54.4	67.1	63.0	46.0	-26.9
連邦法人税	10.1	10.6	16.3	12.4	3.4	-72.3
<b>キャピタルゲイン調整前純利益</b>	<b>38.9</b>	<b>43.8</b>	<b>50.8</b>	<b>50.6</b>	<b>42.6</b>	<b>-15.8</b>
正味実現キャピタルゲイン(ロス)	-1.3	-3.5	-11.4	-8.6	-4.7	NA
<b>純利益</b>	<b>37.6</b>	<b>40.3</b>	<b>39.4</b>	<b>42.1</b>	<b>37.9</b>	<b>-10.0</b>
税引前営業利益	49.0	54.4	67.1	63.0	46.0	-26.9
資本金及びサープラス期末残高	354.0	367.2	380.7	394.9	400.0	1.3

<sup>1</sup> 四捨五入前のデータから算出。NA = 該当なし。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 5. 生命保険業界の財務データ 財務成績

元受収入保険料で見た場合、生命保険における最大の種目は年金であり、2018年の元受収入保険料の48%を占めている。傷害・健康保険は元受収入保険料の27%を占める。傷害・健康保険は、伝統的な健康保険とは別に特定の医療費を支払う商品を含む。傷害・健康保険には就業不能保険、重度疾病保険、長期介護保険が含まれる。生命保険は元受収入保険料の25%を占める。生命保険には個人を対象とした普通生命保険と、会社従業員などを対象とした団体生命保険が販売されている。その他の種目には被保険者が死亡または就業不能になった場合、借入金残高を支払う信用生命保険、少額の保険金額で保険料は一般に代理店が週次で集金する簡易生命保険などがある。

### 生命保険業界の種目別元受収入保険料：2016年～2018年（単位：千ドル）

保険種目	2016年		2017年		2018年	
	元受収入保険料 <sup>1</sup>	比率(%)	元受収入保険料 <sup>1</sup>	比率(%)	元受収入保険料 <sup>1</sup>	比率(%)
<b>年金</b>						
普通個人年金	197,026,489	28.8	181,849,769	26.3	207,806,482	28.3
団体年金	129,332,100	18.9	134,348,059	19.4	146,170,467	19.9
<b>合計</b>	<b>326,358,589</b>	<b>47.8</b>	<b>316,197,828</b>	<b>45.7</b>	<b>353,976,949</b>	<b>48.3</b>
<b>生命保険</b>						
普通生命保険	139,782,420	20.5	143,537,902	20.8	142,275,947	19.4
団体生命保険	36,427,380	5.3	39,856,057	5.8	38,489,232	5.2
信用生命保険 (団体および個人)	828,632	0.1	808,621	0.1	814,935	0.1
簡易生命保険	129,303	<sup>2</sup>	123,394	<sup>2</sup>	107,475	<sup>2</sup>
<b>合計</b>	<b>177,167,735</b>	<b>25.9</b>	<b>184,325,974</b>	<b>26.7</b>	<b>181,687,589</b>	<b>24.8</b>
<b>傷害・健康保険<sup>3</sup></b>						
団体	115,363,684	16.9	126,290,331	18.3	134,735,315	18.4
その他	63,637,078	9.3	63,725,795	9.2	61,941,132	8.4
信用	822,146	0.1	830,946	0.1	852,520	0.1
<b>合計</b>	<b>179,822,908</b>	<b>26.3</b>	<b>190,847,071</b>	<b>27.6</b>	<b>197,528,967</b>	<b>26.9</b>
その他種目合計	3,315	<sup>2</sup>	3,839	<sup>2</sup>	4,723	<sup>2</sup>
<b>全種目合計<sup>4</sup></b>	<b>683,352,546</b>	<b>100.0</b>	<b>691,374,713</b>	<b>100.0</b>	<b>733,198,228</b>	<b>100.0</b>

<sup>1</sup> 再保険取引前。

<sup>2</sup> 0.1%未満。

<sup>3</sup> 損害保険・健康保険会社の年次報告書に記載の傷害・健康保険の保険料を除く。

<sup>4</sup> 預託型のファンドを除く。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 投資

S&P Global Market Intelligence 社によれば、生命保険会社と損害保険会社は資本市場の主要なプレーヤーであり、2018年の現金および運用資産は8.3兆ドルであった。2018年の生命保険・年金業界の現金および運用資産は4.1兆ドル、特別勘定およびその他の投資は2.5兆ドルであった。2018年の損害保険業界の現金および運用資産は1.7兆ドルであった。

生命保険商品は、一般に保険期間が10年以上の長期に及ぶため、支払が安定している。このため、生命・年金保険会社は、主として長期の商品に投資している。2018年に生命保険会社は、特別勘定を除き、資産の72%を債券、2%を株式に投資した。生命保険会社は、資産の13%を、満期まで7年以上の期間があるモーゲージローンに投資した。

### 生命保険会社の投資：2016年～2018年<sup>1</sup>（単位：十億ドル、年末現在）

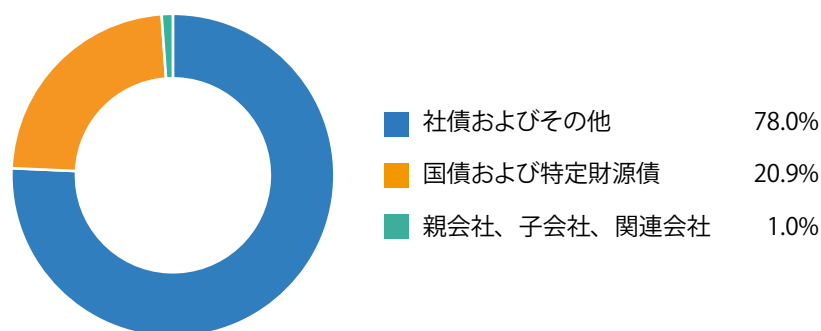
投資種別	金額			投資全体に対する割合(%)		
	2016年	2017年	2018年	2016年	2017年	2018年
債券	2,860.6	2,973.5	2,989.1	73.50	72.97	72.48
<b>株式</b>	<b>96.0</b>	<b>104.9</b>	<b>94.1</b>	<b>2.47</b>	<b>2.57</b>	<b>2.28</b>
優先株	9.6	10.5	12.3	0.25	0.26	0.30
普通株	86.4	94.5	81.8	2.22	2.32	1.98
<b>モーゲージローン</b>	<b>437.7</b>	<b>477.0</b>	<b>521.5</b>	<b>11.25</b>	<b>11.71</b>	<b>12.65</b>
第一順位	430.1	468.5	512.6	11.05	11.50	12.43
第一順位以外	7.6	8.6	8.9	0.20	0.21	0.22
<b>不動産</b>	<b>24.5</b>	<b>23.5</b>	<b>20.4</b>	<b>0.63</b>	<b>0.58</b>	<b>0.50</b>
営業用不動産	6.0	6.0	5.8	0.15	0.15	0.14
賃貸用不動産	17.6	17.0	14.1	0.45	0.42	0.34
売買目的不動産	0.9	0.5	0.5	0.02	0.01	0.01
現金、現金同等物および短期投資	101.4	104.7	104.7	2.61	2.57	2.54
契約者貸付(保険料の貸付を含む)	126.9	128.9	129.2	3.26	3.16	3.13
デリバティブ	62.0	58.7	56.4	1.59	1.44	1.37
その他の投資資産	158.3	175.1	187.1	4.07	4.30	4.54
有価証券に係わる未収入金	3.9	5.3	4.5	0.10	0.13	0.11
証券貸借に対する担保資産の再投資	12.6	16.9	12.6	0.32	0.41	0.30
運用資産への繰入	8.0	6.4	4.5	0.20	0.16	0.11
<b>現金・運用資産合計</b>	<b>3,891.9</b>	<b>4,074.8</b>	<b>4,124.1</b>	<b>100.00</b>	<b>100.00</b>	<b>100.00</b>

<sup>1</sup> データは生命年金保険会社の認容資産。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 5. 生命保険業界の財務データ 支払金

### 生命保険会社の債券ポートフォリオ：2018年<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 償還期限が1年を超える長期社債、2018年12月31日現在。四捨五入のため、100%に達しない。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 支払金

生命保険の給付と返戻金は、2017年の6,970億ドルに対し、2018年は7,840億ドルであった。この金額には、生命保険の死亡給付金、年金給付金、就労不能給付金等が含まれている。支払項目中最大のものは、解約払戻金と積立金引出の3,500億ドルで、これは契約者が満期前に解約した場合や保険契約から現金を引き出した場合等に契約者に支払われるものである。

### 生命保険業界の給付金と返戻金：2014年～2018年（単位：千ドル）

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
死亡給付金	65,960,933	72,320,822	73,996,171	74,942,640	77,430,727
年次生存保険金を除く満期保険金	350,488	397,554	420,287	437,591	381,587
年金給付金	69,583,732	73,535,187	74,769,738	77,043,317	78,392,309
就業不能、傷害、医療費給付 <sup>1</sup>	113,572,825	115,468,861	120,056,048	126,787,598	132,337,071
クーポン、生存保険、その他類似の給付金	18,992	18,237	19,509	19,406	11,216
解約払戻金、積立金引出	281,532,892	272,998,652	265,095,216	308,928,847	350,278,917
団体保険転換	28,088	48,382	30,872	25,719	26,702
預託型契約に対する利払および調整	7,749,827	8,009,313	9,407,551	8,348,035	9,539,457
保険数理的基礎を有する特約に関する支払	2,237,030	2,120,777	2,062,662	2,106,523	2,152,431
準備金合計の増加	100,984,602	72,537,331	123,731,601	98,004,458	133,817,431
<b>給付金・払戻金合計</b>	<b>642,018,058</b>	<b>617,451,481</b>	<b>669,589,655</b>	<b>696,644,134</b>	<b>784,367,507</b>

<sup>1</sup> 健康保険会社、損害保険会社の支払った給付金を除く。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 種目別保険料

### 民間健康保険

民間健康保険の大半は、健康保険に特化した保険会社が引受けている。しかし、生命保険会社や損害保険会社も健康保険を引受けており、年次報告書では傷害・健康保険と記載されている。

S&P Global Market Intelligence 社によれば、2018年の民間健康保険の元受収入保険料は9,196億ドル、内訳は健康保険会社が7,156億ドル、生命保険会社が1,975億ドル、損害保険会社が65億ドルであった。

米国情勢調査局の報告によれば、健康保険に未加入の米国人は2017年には2,560万人、2018年には2,750万人となっている。2018年の未加入者の割合は8.5%で、2017年の7.9%から増加した。未加入者の割合は、2013年の13.3%から減少しているが、改善幅は縮小しており、未加入者の割合が増加する可能性がある。Gallup社とSharecare社の調査によるWell-Being Indexによれば、国勢調査局のデータと直接比較できないものの、健康保険未加入の成人の割合は、2018年第4四半期は13.7%となり、2014年第1四半期以降、最も高い水準となった。この13.7%という割合は同社によると、2014年のAffordable Care Act (ACA) が施行される前の2014年に記録され、過去最も高い割合であった18%を下回っている。最も低い割合は2016年の10.9%である。

#### i

2018年の民間または政府の健康保険に加入している米国人の割合は91.5%であり、2017年は92.1%であった。

#### 健康保険加入状況：2018年

	人数	人口比 (%)
<b>加入済み<sup>1</sup></b>	<b>296,206</b>	<b>91.5</b>
民間健康保険	217,780	67.3
政府健康保険	111,330	34.4
<b>未加入</b>	<b>27,462</b>	<b>8.5</b>
<b>合計<sup>2</sup></b>	<b>323,668</b>	<b>100.0</b>

<sup>1</sup> 政府健康保険、民間健康保険、その組み合わせ等何らかの形態の保険に加入している個人。民間健康保険加入者と政府健康保険加入者の合計ではない。年間を通じて、複数の保険に加入することができる。

<sup>2</sup> 調査手法が異なるため、総人口は国勢調査局の予想と異なる。

出典：米国商務省国勢調査局

#### 国勢調査局のその他の調査結果：

- 民間保険に加入している米国人の割合は、2017年の67.7%から低下して、2018年は67.3%であった。
- 政府保険加入者の割合は2017年の34.8%から低下して、2018年は34.4%であった。
- 健康保険未加入者の割合が最も高い層は、2018年では19～25歳の14.3%で、全世代では8.5%となっている。
- 19歳未満の子供で健康保険に加入していない者の割合は5.5%であった。
- 2017年から2018年にかけて、3州で保険未加入者の割合が低下したのに対し、8つの州で増加した。

## 5. 生命保険業界の財務データ 種目別保険料

### 健康保険上位 10 グループ・会社、元受収入保険料順：2018 年<sup>1</sup>（単位：千ドル）

順位	グループ名/会社名	元受収入保険料	マーケットシェア(%)
1	UnitedHealth Group Inc.	100,589,323	14.1
2	Anthem Inc.	66,121,463	9.2
3	Humana Inc.	55,903,897	7.8
4	HealthCare Service Corp.	37,655,147	5.3
5	Centene Corp.	35,334,497	4.9
6	CVS Health Corp. <sup>2</sup>	21,645,211	3.0
7	WellCare Health Plans Inc.	19,907,554	2.8
8	Kaiser Permanente	19,279,172	2.7
9	GuideWell Mutual Holding Corp.	17,954,524	2.5
10	Molina Healthcare Inc.	16,216,140	2.3

<sup>1</sup> 健康保険会社の年次報告書データによる。損害保険会社、生命保険会社の年次報告書記載の健康保険データを含まない。属領を除く。

<sup>2</sup> CVS Health Corp と Aetna Inc は 2019 年に合併。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 就業不能保険

就業不能保険は、被保険者が事故または疾病により仕事ができなくなった場合、収入を保障するものである。

### 個人就業不能保険の新規契約：2018 年<sup>1</sup>

	年換算保険料 (ドル)	前年比増率(%)	契約件数	前年比増率(%)
更新保証型	349,192	-6	435,309	2
解除不能型	251,221	1	169,371	4
<b>合計</b>	<b>600,413</b>	<b>-2</b>	<b>604,680</b>	<b>3</b>

<sup>1</sup> 短期および長期の個人向け就業不能保険。LIMRAによる個人就業不能保険取扱い保険会社19社を対象とする調査に基づく。企業就業不能保険を除く。

出典：LIMRA の 2018 年第 4 四半期個人就業不能・所得補償保険販売調査



就業不能保険の新規契約年換算保険料は、2017年は8%上昇したが、2018年は2%低下した。

### 個人就業不能保険の保有契約：2017 年<sup>1</sup>

	契約件数	前年比増率 (%)	年換算保険料(ドル)	前年比増率 (%)
解除不能型	2,364,276	-1	4,403,209,890	2
更新保証型	1,681,405	<sup>2</sup>	1,218,850,095	3
<b>合計</b>	<b>4,045,681</b>	<b><sup>2</sup></b>	<b>5,622,059,985</b>	<b>2</b>

<sup>1</sup> 短期および長期の個人向け就業不能保険。LIMRAによる就業不能保険取扱い保険会社21社を対象とする調査に基づく。企業就業不能保険を除く。

<sup>2</sup> 0.5% 未満。

出典：LIMRA の四半期・年次就業不能所得調査 2017～2018

## 5. 生命保険業界の財務データ 種目別保険料

### 長期介護保険

長期介護保険は、一定の日常生活動作が困難となり介助が必要となった人や、アルツハイマー病などの認知障害のためにケアが必要となった人に介護サービスの費用を支払うものである。米国保健福祉省によれば、65歳以上の人の大半は、何らかの長期介護サービスを必要とするとみられている。米国国勢調査局によれば、65歳以上の人口は2018年現在5,240万人、米国総人口の16.0%であったが、2030年までには7,310万人、2050年には8,570万人に達すると推測されている。

#### 個人長期介護保険：2018年<sup>1</sup>

	人数	前年比増率 (%)	保険料(百万ドル)	前年比増率 (%)
新規	>57,000	-15	169	-8
保有 <sup>2</sup>	≒4,700,000	-2	≒10,700	1

<sup>1</sup> LIMRA International の個人長期介護保険販売調査による。

<sup>2</sup> 不参加業者分推計を含む。

>：超、≒：約

出典：LIMRA の 2018 年個人長期介護保険販売・保有調査

### 種目・州別保険料

#### 生命保険の元受収入保険料および年金保険料：2018年<sup>1</sup> (単位：百万ドル)

州	生命保険	年金	傷害・健康保険 <sup>2</sup>	預託型 契約基金	その他の 保険料	合計
アラバマ	2,192	2,992	1,835	257	512	7,789
アラスカ	447	395	322	23	239	1,426
アリゾナ	2,471	5,468	4,050	317	1,846	14,152
アーカンソー	1,118	1,576	1,041	74	297	4,106
カリフォルニア	17,576	25,873	14,901	2,754	10,248	71,352
コロラド	2,745	5,601	4,184	1,218	1,025	14,773
コネティカット	2,542	5,331	3,073	9,214	2,268	22,430
デラウェア	1,346	2,606	773	56,272	553	61,550
ワシントンD.C.	434	687	1,039	1,434	789	4,382
フロリダ	9,638	19,451	14,917	1,468	4,679	50,153
ジョージア	5,043	5,650	8,577	2,026	3,092	24,389
ハワイ	840	1,496	1,227	76	449	4,088
アイダホ	596	1,200	829	72	293	2,990
イリノイ	7,059	9,872	6,191	1,344	2,873	27,339
インディアナ	3,060	5,628	4,809	2,341	1,054	16,892
アイオワ	2,426	3,213	1,529	8,013	3,219	18,399
カンザス	1,361	2,299	3,984	1,289	412	9,346
ケンタッキー	1,606	2,647	1,779	268	890	7,191

(続く)



## 5. 生命保険業界の財務データ 種目別保険料

生命保険の元受収入保険料および年金保険料：2018年<sup>1</sup>（単位：百万ドル）（続き）

州	生命保険	年金	傷害・健康保険 <sup>2</sup>	預託型 契約基金	その他の 保険料	合計
ルイジアナ	2,441	3,570	2,170	266	595	9,043
メイン	451	1,252	926	67	223	2,919
メリーランド	3,071	5,299	3,763	679	1,351	14,163
マサチューセッツ	3,805	7,798	3,586	1,771	3,438	20,396
ミシガン	4,630	10,796	3,633	1,194	1,868	22,120
ミネソタ	4,755	4,951	1,715	917	2,158	14,497
ミシシッピ	1,272	1,748	1,500	278	206	5,004
ミズーリ	2,778	6,069	4,853	736	2,079	16,515
モンタナ	374	492	416	35	177	1,493
ネブラスカ	1,086	1,841	1,566	487	486	5,466
ネバダ	1,174	1,665	1,334	309	512	4,994
ニューハンプシャー	619	2,263	716	145	861	4,604
ニュージャージー	6,471	12,022	6,906	1,495	2,724	29,618
ニューメキシコ	659	1,053	1,146	80	447	3,385
ニューヨーク	12,378	19,016	10,158	41,063	9,191	91,806
ノースカロライナ	4,805	7,581	6,365	664	2,774	22,189
ノースダコタ	436	663	340	80	186	1,704
オハイオ	5,125	11,307	7,933	14,931	2,334	41,631
オクラホマ	1,480	2,183	1,833	239	556	6,291
オレゴン	1,290	2,672	2,148	246	1,130	7,485
ペンシルバニア	6,476	13,889	7,694	2,899	3,160	34,118
ロードアイランド	459	1,258	540	135	206	2,597
サウスカロライナ	2,261	3,950	4,092	238	504	11,044
サウスダコタ	853	570	414	260	122	2,219
テネシー	3,237	5,545	3,837	935	1,226	14,780
テキサス	12,244	17,441	18,006	5,113	3,190	55,994
ユタ	1,490	2,498	1,437	361	618	6,404
バーモント	255	590	385	81	155	1,466
バージニア	4,314	6,319	5,939	744	1,394	18,710
ワシントン	2,606	4,812	4,095	561	1,667	13,741
ウェストバージニア	633	1,210	860	95	161	2,959
ウィスコンシン	2,673	5,296	3,819	698	1,197	13,683
ワイオミング	273	500	376	30	76	1,254
<b>全米<sup>3</sup></b>	<b>159,375</b>	<b>270,102</b>	<b>189,561</b>	<b>166,290</b>	<b>81,710</b>	<b>867,039</b>

<sup>1</sup> 再保険取引前の元受収入保険料。州基金を除く。

<sup>2</sup> 損害保険・健康保険会社の年次報告書記載の傷害・健康保険の保険料を除く。

<sup>3</sup> 本表の合計には、属領、配当金、その他州別に集計できないデータを除く。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 5. 生命保険業界の財務データ 主要グループ

### 主要グループ

#### 生命保険上位 20 グループ・会社、元受収入保険料順：2018 年（単位：千ドル）

順位	グループ名/会社名	元受収入保険料 <sup>1</sup>	マーケットシェア(%)
1	MetLife Inc.	10,877,337	6.7
2	Northwestern Mutual Life Insurance Co.	10,550,806	6.5
3	New York Life Insurance Group	9,385,843	5.8
4	Prudential Financial Inc.	9,170,883	5.6
5	Lincoln National Corp.	8,825,314	5.4
6	Massachusetts Mutual Life Insurance Co.	6,874,972	4.2
7	Transamerica	4,867,311	3.0
8	John Hancock Life Insurance Co.	4,657,312	2.9
9	State Farm Mutual Automobile Insurance	4,636,147	2.9
10	Securian Financial Group	4,426,864	2.7
11	Guardian Life Insurance Co. of America	4,055,519	2.5
12	Pacific Life	3,770,584	2.3
13	Nationwide Mutual Group	3,365,469	2.1
14	American International Group (AIG)	3,346,570	2.1
15	AXA	3,097,395	1.9
16	Voya Financial Inc.	2,668,108	1.6
17	BrightHouse Financial Inc.	2,525,047	1.6
18	Protective Life Insurance Company	2,406,629	1.5
19	Primerica Inc.	2,376,601	1.5
20	Torchmark Corp.	2,367,072	1.5

<sup>1</sup> 再保険取引前。属領を含む米国合計額。年金、傷害・健康保険、預託型のファンド、その他の掛金を除く。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 5. 生命保険業界の財務データ 主要グループ

### 個人生命保険上位 10 グループ・会社、元受収入保険料順：2018 年（単位：千ドル）

順位	グループ名/会社名	元受収入保険料 <sup>1</sup>	マーケットシェア(%)
1	Northwestern Mutual Life Insurance Co.	10,547,469	8.2
2	Lincoln National Corp.	7,467,869	5.8
3	New York Life Insurance Group	7,331,015	5.7
4	Massachusetts Mutual Life Insurance Co.	6,171,213	4.8
5	Prudential Financial Inc.	5,806,118	4.5
6	John Hancock Life Insurance Co.	4,651,894	3.6
7	State Farm Mutual Automobile Insurance	4,593,999	3.6
8	Transamerica	4,567,999	3.6
9	Pacific Life	3,770,584	2.9
10	MetLife Inc.	3,724,165	2.9

<sup>1</sup> 再保険取引前。属領を含む米国合計額。年金、傷害・健康保険、預託型のファンド、その他掛金を除く。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

### 団体生命保険上位 10 グループ・会社、元受収入保険料順：2018 年（単位：千ドル）

順位	グループ名/会社名	元受収入保険料 <sup>1</sup>	マーケットシェア(%)
1	MetLife Inc.	7,133,718	21.0
2	Prudential Financial Inc.	3,364,765	9.9
3	Securian Financial Group	2,510,157	7.4
4	New York Life Insurance Group	2,054,828	6.1
5	Cigna Corp.	1,703,227	5.0
6	Unum Group	1,617,900	4.8
7	Lincoln National Corp.	1,357,411	4.0
8	Hartford Life & Accident Insurance Co.	1,334,463	3.9
9	Nationwide Mutual Group	1,315,267	3.9
10	CVS Health Corp. <sup>2</sup>	946,226	2.8

<sup>1</sup> 再保険取引前。属領を含む米国合計額。年金、傷害・健康保険、預託型のファンド、その他掛金を除く。

<sup>2</sup> CVS Health Corp と Aetna Inc は 2019 年に合併。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 分離勘定

分離勘定とは、生命保険会社が保有する基金で、保険会社の一般勘定とは別に運営する勘定を指す。全米保険庁長官会議（NAIC）によると、元々は投資連動型変額年金に関する連邦証券法に対応して設立された。変額年金は、投資対象が増えるにつれ、収益が変動するため、ミューチュアル・ファンドのような運用となる。分離勘定は過去 20 年間に急速に発展し、現在では一連のハイブリッド投資商品を支えている。

分離勘定は、生命保険会社の収益に貢献する（「[生命業界の損益計算書 \(2014 年 -2018 年\)](#)」参照）。2018 年の生命保険業界の総収益 9,050 億ドルのうち、分離勘定が 373 億ドルを占めた。

## 第6章

# 損害保険業界の財務データ

## 財務成績

### 2018年財務成績

2018年の損害保険会社の利益は、2017年から66%増加した。Verisk Analytics社のISOによると、この増加は2017年に16%の減益となったことと、税制が変更したことが原因となっている。2018年の正味収入保険料は、2017年と比べて11%上昇した。正味収入保険料の増加は、一部の保険会社が再保険の実務である2017年税制改革法へ対応したことによるものである。異常災害による損失が2017年の1,057億ドルから2018年には495億ドルに減少したことで、発生損害額と損害調査費の増率は、2017年の9%と4%から2018年には4%と1%と増加幅は縮小した。その結果、保険引受損失は2017年の230億ドルから2018年には1億ドルへ減少した。投資収益は13%増加したが、2018年の実現損益は31%減少した。平均剰余金に基づく純資産に対するリターンは、2017年の5%から2018年には8%に増加した。Verisk Analytics社のISOによれば、業界の保険引受能力を示す契約者剰余金は、2018年第4四半期の株式市場の急落により、2018年12月31日現在で7,422億ドルと前年から1%減って、85億ドルの減少となったが契約者剰余金の水準は依然として高く、保険業界は依然として極めて良好な資本状況となっている。S&P Global Market Intelligence社によると、コンバインド・レシオは2018年に99.2まで低下し、前年の103.7から損益分岐点を脱した。コンバインド・レシオが100を超えるということは、保険会社が保険料として収受した金額を超える支出があったことを意味する。

### 損害保険の収入分析：2014年～2018年<sup>1</sup>（単位：十億ドル）

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
正味収入保険料	497.0	514.4	528.3	552.6	612.6
増率(%)	4.2	3.5	2.7	4.6	10.8
既経過保険料	487.9	506.0	523.5	540.6	594.1
発生損害額	277.7	290.7	317.9	347.6	360.9
損害調査費	57.3	59.6	60.3	62.7	63.3
その他引受費用	138.3	144.3	147.6	151.0	167.0
契約者配当金	2.4	2.5	2.3	2.6	3.0
保険引受損益(契約者配当後)	12.2	8.9	-4.7	-23.3	-0.1
純投資収益	46.4	47.2	46.6	48.9	55.3
その他損益	-2.7	1.5	1.1	-5.2	1.4
営業損益	55.9	57.7	43.0	20.3	56.6
実現損益	10.3	9.4	7.3	15.1	10.4
連邦・外国法人税	10.3	10.2	7.4	-0.6	7.0
税引後純利益	55.9	56.8	42.9	36.1	60.0

<sup>1</sup> 本表のデータは、州基金およびその他の残余市場保険会社を除く。また、出典が異なるため、他の引用データと異なることがある。

出典：Verisk Analytics社のISO

### i

損害保険業界は、正味収入保険料が10.8%伸びたことで、保険引受損失は2017年の230億ドルから2018年には1億ドルに大きく減少した。2017年から2018年にかけて異常災害による損失が560億ドル(47%)減少したことで、既発生損害額の割合は9.3%から3.8%へ減少した。

## 6. 損害保険業界の財務データ 財務成績

### 保険料、経費とコンバインド・レシオ

保険会社は財務成績を測るために様々な指標を使う。契約者配当後コンバインド・レシオは、保険引受の収益性を測る指標の1つである。この指標は保険料1ドルに対して、保険会社が保険金および経費として支払った額の割合を示している。コンバインド・レシオは投資収益を考慮に入れていない。コンバインド・レシオが100を超える場合、引受損失が発生していることになる。

#### 損害保険の正味収入保険料とコンバインド・レシオ：2009年～2018年（単位：十億ドル）

年	正味収入 保険料 <sup>1</sup>	増率 (%)	契約者配当後 コンバインド・ レシオ <sup>2</sup>	変化率 <sup>3</sup> (ポイント)	年	正味収入 保険料 <sup>1</sup>	増率 (%)	契約者配当後 コンバインド・ レシオ <sup>2</sup>	変化率 <sup>3</sup> (ポイント)
2009	423.5	-3.8	100.4	-4.8	2014	502.8	4.4	97.2	0.8
2010	425.9	0.6	102.5	2.1	2015	520.1	3.4	97.9	0.8
2011	441.6	3.7	108.3	5.8	2016	533.8	2.6	100.8	2.8
2012	460.7	4.3	103.2	-5.2	2017	558.2	4.6	103.8	3.0
2013	481.5	4.5	96.4	-6.8	2018	617.0	10.5	99.2	-4.5

<sup>1</sup> 再保険取引後、州基金を除く。

<sup>2</sup> 契約者配当後。コンバインド・レシオの低下は改善を表し、上昇は悪化を表す。

<sup>3</sup> 四捨五入前のデータから算出。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

#### 損害保険業界の引受費用構成：2018年<sup>1</sup>

費用	保険料に占める割合 (%)
<b>損害額および損害関連費用<sup>2</sup></b>	
<b>損害額および損害調査費(LAE)比率</b>	<b>71.3</b>
発生損害額	60.6
既発生防御費用および損失抑制費用	4.1
既発生調査費用その他の費用	6.6
<b>引受費用<sup>3</sup></b>	
<b>事業費率</b>	<b>27.1</b>
既発生手数料・ブローカー費用	11.5
税、免許料、諸手数料	2.4
その他の既発生募集費用・現場指導費用	6.7
既発生一般費用	6.5
<b>契約者配当金<sup>2</sup></b>	<b>0.6</b>
<b>契約者配当後コンバインド・レシオ<sup>4</sup></b>	<b>99.0</b>

<sup>1</sup> 再保険取引後。

<sup>2</sup> 正味既経過保険料 (2018年は5,986億ドル) に対する割合。

<sup>3</sup> 正味収入保険料 (2018年は6,170億ドル) に対する割合。

<sup>4</sup> 損害額、損害調査費、事業費および配当合計の比率。

注：四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある。

出典：S & P Global Market Intelligenc 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 6. 損害保険業界の財務データ 財務成績

### 収益性：保険とその他の主要産業

損害保険会社の収益性は、他産業に比べて見劣りする。2009年から2018年まで、フォーチュン500（製造業およびサービス業）に含まれる企業の株主資本利益率の中央値は、損害保険業界のそれを毎年上回っている。保険会社は、年次財務諸表を州の保険庁や内国歳入庁に提出する際に、一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）よりも保守的な法定会計原則（SAP）を用いなければならない。外国の保険会社は、SAPともGAAPとも異なる会計基準を用いている。一部の保険会社は、国際統一基準への移行を支持している。2018年の損害保険業界の法定会計利益率は8.0%で、2017年の5.0%から上昇した。

### 年間利益率：資本に対する税引後純利益の割合（%）：2009年～2018年

年	損害保険 <sup>1</sup>		生命保険・年金		他の主要産業 <sup>2</sup>			フォーチュン500製造業 およびサービス業 <sup>8</sup>
	法定会計 <sup>3</sup>	GAAP 会計 <sup>4</sup>	生命保険 <sup>5</sup>	ヘルスケア 保険 <sup>6</sup>	複合 金融機関 <sup>7</sup>	商業銀行	電気・ガス 公益事業	
2009	5.9	5.0	4.0	14.0	9.0	4.0	9.0	10.5
2010	6.6	5.6	7.0	12.0	10.0	8.0	10.0	12.7
2011	3.5	3.0	8.0	15.0	12.0	8.0	10.0	14.5
2012	6.1	5.3	7.0	12.0	18.0	9.0	8.0	15.0
2013	10.2	8.9	7.0	13.0	18.0	9.0	9.0	13.7
2014	8.4	7.5	9.0	12.0	22.0	9.0	10.0	14.2
2015	8.4	7.4	8.0	12.0	22.0	8.0	9.0	13.3
2016	6.2	5.5	7.0	11.0	14.0	8.0	9.0	12.9
2017	5.0	<sup>9</sup>	9.0	15.0	14.0	9.0	10.0	14.1
2018	8.0	NA	6.0	12.0	20.0	12.0	10.0	14.5

<sup>1</sup> 労働者災害補償州基金およびその他の残余市場保険会社を除く。

<sup>2</sup> GAAP 会計基準に基づく純資産利益率、フォーチュン誌。

<sup>3</sup> 法定会計による税引後純利益 / 当年末と前年末の契約者剰余金の平均値。ISO が算出。保険会社は保険監督当局への年次報告作成の際に法定会計を用いる。データは民間損害保険会社全社のもの。

<sup>4</sup> 法定会計に基づくデータから推計。GAAP ベースの純利益を当年末および前年末の GAAP ベース純資産の平均値で割ったものに等しい。ISO が算出。

<sup>5</sup> GAAP 会計基準に基づく純資産利益率、フォーチュン誌。米国保険情報協会が株式会社と相互会社を合わせて算出。

<sup>6</sup> ヘルスケア保険およびマネージドケア。

<sup>7</sup> 広範な金融サービスを主たる収入源とする会社。これらの会社は、保険会社、銀行または貯蓄金融機関、証券会社としてそれぞれの認可を受けている訳ではないが、こうした金融事業から収入を得ている。

<sup>8</sup> フォーチュン 500（製造業およびサービス業）の株主資本利益率の中央値。

<sup>9</sup> 2017 年減税・雇用法の実施に伴う不確実性のため、ISO からは入手できないデータ。

NA = データ入手不能。

出典：Verisk Analytics 社の ISO、フォーチュン

## 損害保険業界のサイクル

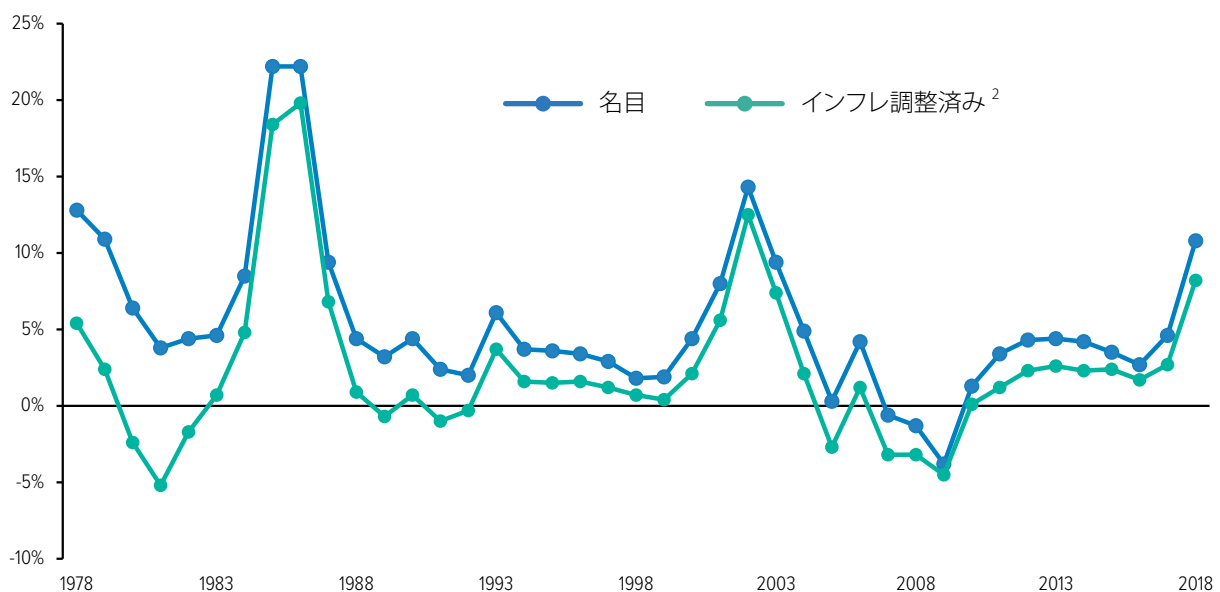
損害保険業界のサイクルは、保険料率が安定または下落し、保険購入が容易なソフトマーケット期と、保険料率が上昇し、保険の入手が困難となり、保険会社の収益が向上するハードマーケット期に特徴づけられる。

損害保険のサイクルを生む主な要因は業界内の激しい競争にある。保険会社が市場シェア増加を目指して激しく競争するにつれ、保険料率は低下する。利益が減少するか、ゼロになってしまうまで市場がソフト化すると、新規案件引受に必要とされる資本が枯渇してしまう。サイクルの上昇局面では、競争が弱まり、引受基準は厳しくなり、資本が不足しているために保険供給は限定され、結果として保険料率が上昇する。そうすると、高い利益率への期待から、資本が流入し、競争は激化し、必然的にサイクルが下降局面入りすることになる。

下表は、名目およびインフレ調整後の損害保険正味収入保険料の伸び率を過去40年にわたって示したものである。この間にハード期は3回あった。保険料の算出方法には数種類あるが、ここでは再保険料を差し引いた正味収入保険料を用いている。

過去3回のハード期では、インフレ調整後の正味収入保険料収入はそれぞれ年率7.7%(1975年～1978年)、10.0%(1984年～1987年)および6.3%(2001年～2004年)増加している。

### 損害保険の正味収入保険料の対前年伸び率：1978年～2018年<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 州基金およびその他の残余市場保険会社を除く。

<sup>2</sup> ISOによりGDPデフレーターを用いてインフレ調整済み。

出典：Verisk Analytics社のISO



## 6. 損害保険業界の財務データ 財務成績

### 事業成績

一般的に、保険業界においては、保険引受業務から利益を生み出せない。資本および剰余金、支払備金および未経過保険料からの投資収益によってこれらの損失を埋め合わせている。S&P Global Market Intelligence 社によれば、2006年、2007年および2009年の保険引受成績は好調であった。業界は、2010年から2012年まで保険引受損失を計上し、特に2011年は353億ドルと、2001年の503億ドル以来の大きな損失を記録している。損害保険業界は、2015年までの3年間、保険引受利益を計上したが、2016年は24億ドル、2017年は206億ドルの保険引受損失を計上している。2018年、業界は32億ドルの保険引受利益を計上した。

#### 事業成績、損害保険：2009年～2018年<sup>1</sup>（単位：百万ドル）

年	保険引受損益 (契約者配当後)	投資収益 (投資経費等控除後)	実現資産 売却損益	契約者配当金	税金 <sup>2</sup>	税引後純利益 <sup>3</sup>
2009	1,579	48,640	-7,895	2,141	8,481	32,492
2010	-8,422	48,833	8,003	2,709	8,951	37,716
2011	-35,305	51,000	6,891	2,315	3,026	19,532
2012	-13,872	49,657	8,548	2,656	6,267	37,573
2013	17,500	48,830	17,212	3,018	11,948	70,061
2014	14,247	54,928	11,765	2,943	10,396	64,711
2015	11,163	48,924	9,580	3,017	10,199	58,012
2016	-2,394	48,144	8,058	2,944	7,321	44,557
2017	-20,595	50,520	19,058	3,309	-690	40,878
2018	3,176	56,578	10,689	3,709	7,227	60,825

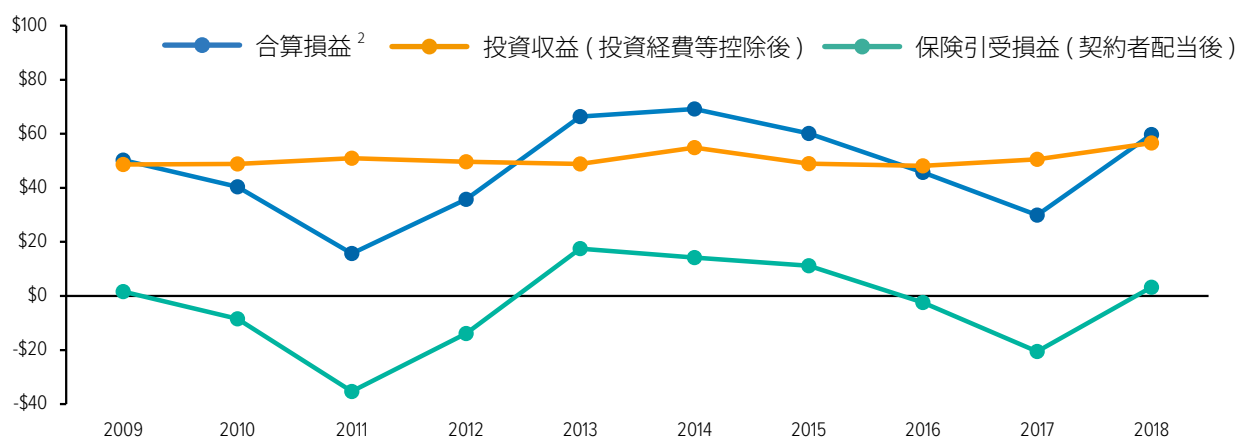
<sup>1</sup> 州基金を除く。

<sup>2</sup> 連邦税および外国税を含む。

<sup>3</sup> 雑収入が省略されているため、各欄に示された数字の合計額とは合致しない。

出典：S & P Global Market Intelligence社を情報源とする全米保険庁長官会議(NAIC)データ、米国保険情報協会

#### 事業成績、損害保険：2009年～2018年<sup>1</sup>（単位：十億ドル）



<sup>1</sup> 州基金を除く。

<sup>2</sup> 保険引受損益(契約者配当後)と投資収益(投資経費等控除後)の合計額。

出典：S & P Global Market Intelligence社を情報源とする全米保険庁長官会議(NAIC)データ、米国保険情報協会

## 契約者剰余金

損害保険会社は、リスクを引き受けるために、一定水準の剰余金を維持しなければならない。この財務的クッションのことを、引受キャパシティとも呼ぶ。保険業界が大型ハリケーンなどによって高額な損害に見舞われると、引受キャパシティは減少する。純利益の増加、好調な投資収益、再保険によるリスク移転の増加、資本調達などによって、引受キャパシティは回復できる。

### 連結ベースでの資産および契約者剰余金、損害保険：2009年～2018年（単位：百万ドル）

年	認容資産	増率 (%)	法定会計による負債	増率 (%)	契約者剰余金	増率 (%)	正味収入保険料総額 <sup>1</sup>	増率 (%) <sup>1</sup>
2009	1,456,852	3.6	936,261	-0.8	520,591	12.7	423,545	-3.9
2010	1,514,190	3.9	947,390	1.2	566,800	8.9	426,380	0.7
2011	1,537,222	1.5	974,699	2.9	562,522	-0.8	441,925	3.6
2012	1,596,263	3.8	998,029	2.4	598,233	6.3	461,130	4.3
2013	1,684,070	5.5	1,016,275	1.8	667,795	11.6	481,757	4.5
2014	1,737,141	3.2	1,046,792	3.0	690,349	3.4	503,090	4.4
2015	1,749,491	0.7	1,057,843	1.1	691,648	0.2	520,613	3.5
2016	1,811,796	3.6	1,096,758	3.7	715,039	3.4	534,003	2.6
2017	1,923,106	6.1	1,155,723	5.4	767,380	7.3	558,450	4.6
2018	1,933,033	0.5	1,176,612	1.8	756,422	-1.4	617,195	10.5

<sup>1</sup> 再保険取引後、州基金を除く。S&P Global Market Intelligence 社の様々な図表を使用しているため、本書の別の箇所にある保険料総額と一致しない場合がある。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

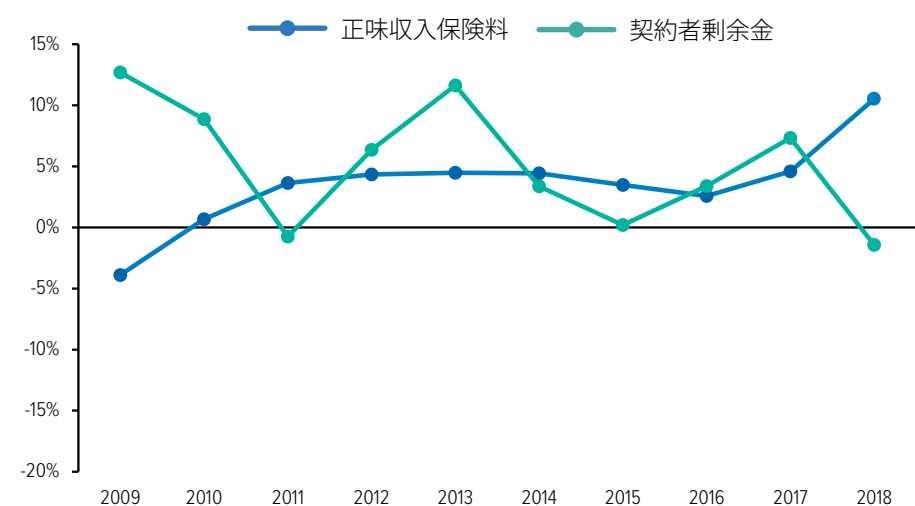


2008年から2009年の世界的な金融市場の不振を受けて契約者剰余金が大幅に減少した。

2017年、契約者剰余金は前年比7.3%増加して過去最高の7,674億ドルとなった。

2018年、契約者剰余金は1.4%減少して7,564億ドルとなった。

### 正味収入保険料と契約者剰余金対前年増率、損害保険：2009年～2018年<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 再保険取引後、州基金を除く。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 6. 損害保険業界の財務データ 財務成績

### コンバインド・レシオ

コンバインド・レシオは、保険料 1 ドルに対して保険会社が保険金および経費として支出した費用の割合である。

コンバインド・レシオは、損害率と事業費率の合計である。損害率は損害額と保険料との関係をパーセントで示している。事業費率は保険の引受に係る費用と保険料との関係を示している。以下の表は保険会社の引受成績を示す指標であるコンバインド・レシオの構成要素を示している。

#### コンバインド・レシオの構成要素、損害保険：2009 年～ 2018 年<sup>1</sup>

年	損害率 <sup>2</sup>	事業費率 <sup>3</sup>	コンバインド・レシオ	契約者配当金 <sup>4</sup>	契約者配当後 コンバインド・ レシオ
2009	72.5	28.0	100.5	0.5	101.0
2010	73.6	28.3	101.8	0.5	102.4
2011	79.3	28.4	107.7	0.4	108.1
2012	74.2	28.2	102.5	0.5	102.9
2013	67.4	28.2	95.6	0.5	96.2
2014	68.7	27.8	96.5	0.5	97.0
2015	69.2	28.0	97.3	0.5	97.8
2016	72.3	27.9	100.2	0.4	100.6
2017	75.9	27.3	103.2	0.5	103.7
2018	71.4	27.3	98.7	0.5	99.2

<sup>1</sup> 州基金およびその他の残余市場保険会社を除く。

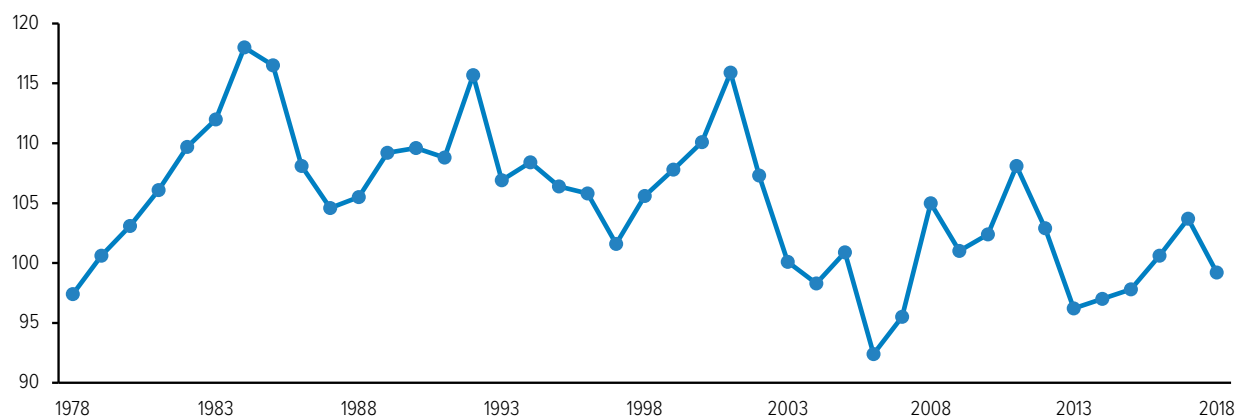
<sup>2</sup> 既経過保険料に対する発生損害額（損害調査費を含む）の比率。

<sup>3</sup> 収入保険料に対するその他引受費用の比率。

<sup>4</sup> 既経過保険料に対する契約者配当金の割合。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

#### 損害保険業界のコンバインド・レシオ：1978 年～ 2018 年<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 州基金およびその他の残余市場保険会社を除く。

出典：Verisk Analytics 社の ISO

## 投資

S&P Global Market Intelligence 社によると、資本市場の主要な事業者である損害保険会社と生命保険会社の現金および運用資産は 2018 年に約 8.3 兆ドルとなった。

損害保険会社の現金および運用資産は 1.7 兆ドルであった。生命保険会社の現金および運用資産は 4.1 兆ドル、分離勘定およびその他の投資は 2.5 兆ドルであった。損害保険会社と生命保険会社の投資は、保険金支払事由によって異なっている。損害保険会社は、大型のハリケーン、地震、あるいはテロなどの人為的災害による保険金請求に備えて、迅速な支払ができるようにすぐに換金できる流動性がある格付けの高い有価証券を中心に投資している。2018 年、損害保険会社は資産の 23% を株式など流動性の高い有価証券に投資し、60% を債券に投資した（下記の表参照）。生命保険商品や年金保険商品は契約期間が長期におよぶため、生命保険会社の保険金支払は安定的なものとなっている。生命保険会社は、より長期の金融商品により多くの投資を行っている。2018 年には、生命保険会社は資産の 72% を債券に（損害保険会社は 60%）、有価証券には 2%（損害保険会社は 23%）投資した（「[生命保険会社の投資：2016 年～2018 年](#)」参照）。生命保険会社は、モーゲージローンなど償還まで 7 年以上の金融商品に、資産の 13% を投資しているのに対して、損害保険会社は資産のわずか 1% しか投資していない。

### 損害保険会社の投資状況：2016 年～2018 年<sup>1</sup>（単位：百万ドル、年末時点）

投資対象	金額			投資全体に対する割合 (%)		
	2016年	2017年	2018年	2016年	2017年	2018年
債券	973,277	979,530	1,020,600	61.25	57.91	60.23
<b>株式</b>	<b>359,164</b>	<b>417,449</b>	<b>396,972</b>	<b>22.60</b>	<b>24.68</b>	<b>23.43</b>
優先株	10,849	5,448	5,247	0.68	0.32	0.31
普通株	348,314	412,001	391,725	21.92	24.36	23.12
<b>モーゲージローン</b>	<b>15,032</b>	<b>17,324</b>	<b>18,876</b>	<b>0.95</b>	<b>1.02</b>	<b>1.11</b>
第1順位	14,407	16,643	18,220	0.91	0.98	1.08
第1順位以外	625	681	656	0.04	0.04	0.04
<b>不動産</b>	<b>12,272</b>	<b>12,887</b>	<b>13,667</b>	<b>0.77</b>	<b>0.76</b>	<b>0.81</b>
営業用不動産	8,933	9,122	9,290	0.56	0.54	0.55
賃貸用不動産	3,061	3,543	3,950	0.19	0.21	0.23
売買目的不動産	278	223	427	0.02	0.01	0.03
現金、現金同等物および短期投資	92,340	115,060	101,384	5.81	6.80	5.98
デリバティブ	531	233	411	0.03	0.01	0.02
その他の投資資産	128,710	137,878	133,876	8.10	8.15	7.90
有価証券に関わる未収入金	1,679	2,102	1,919	0.11	0.12	0.11
証券貸借に対する担保資産の再投資	2,582	4,440	4,804	0.16	0.26	0.28
運用資産への繰入総額	3,319	4,673	1,915	0.21	0.28	0.11
<b>現金・運用資産合計</b>	<b>1,588,905</b>	<b>1,691,575</b>	<b>1,694,424</b>	<b>100.00</b>	<b>100.00</b>	<b>100.00</b>

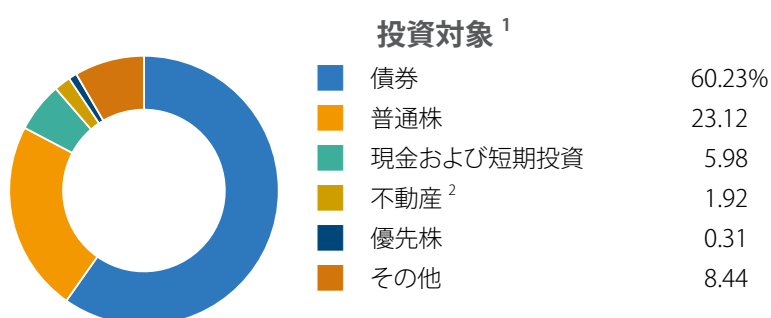
<sup>1</sup> 損害保険会社の現金および純認可資産。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

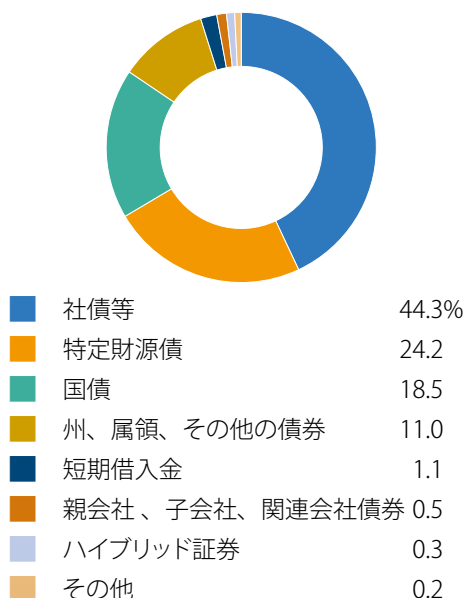
## 債券

損害保険会社は、主として安全で流動性も良好な証券に投資し、その多くは債券である。これは年々の変動が大きい引受損益に対するスタビライザーとして機能する。債券投資の大半は政府発行の債券または高格付の社債である。S&P Global Market Intelligence 社によれば、2018 年末時点で保険会社が所有するすべての短期債、長期債のうち、債務不履行またはそれに近い状況となった債券は、0.12% と 1% を下回る水準であった。

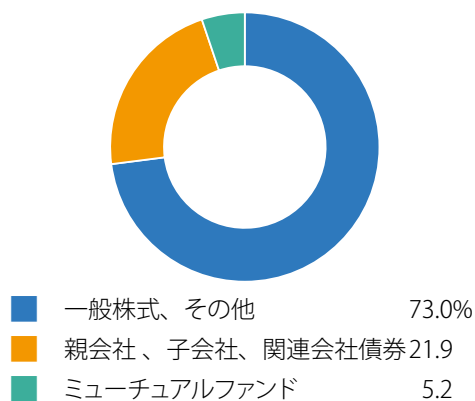
### 投資状況、損害保険会社：2018 年



#### 債券ポートフォリオ (投資全体の 60.2% を占める)



#### 普通株式ポートフォリオ (投資全体の 23.1% を占める)



<sup>1</sup> 現金および運用資産、2018 年 12 月 31 日現在。

<sup>2</sup> モーゲージローンを含む。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## サープラスライン

サープラスライン市場は、その州で認可されている保険会社が引受を断るか、あるいは非常に高い料率または多数の免責条項もしくは非常に高い免責金額といった条件付きでなければ引受けに応じられないリスクを引受けるための市場で、ロイズを含む専門性の高い保険会社のグループが商品を提供している。サープラスライン市場で付保するには条件があり、顧客はまず、認可保険会社に引受けてもらうための十分な働きかけを行わなければならない。十分な働きかけとは、一定数（通常3社から5社）の認可保険会社から拒絶されることと定義される。多くの州では、サープラスライン市場で付保できるリスクを列挙した「移転リスト」が作成されており、これに該当する場合、上記の十分な働きかけは不要となる。

サープラスライン市場に適用される用語、「nonadmitted」「unlicensed」「unauthorized」などは、その会社が当該州で保険を販売することができないまたは規制を受けていない、ということの意味するものではない。各州はサープラスラインに関する規制を有し、各サープラスライン保険会社は本社所在地のある州の当局によってソルベンシーを監督されている。半分以上の州が適格サープラスライン保険会社のリストを持ち、州によっては非適格サープラスライン保険会社リストを持つところもある。

ロイズは企業向け、個人向けともにサープラスライン保険の引受けにおいて重要な役割を担っている。ロイズの会員はシンジケートを組んで保険業務をおこなっており、シンジケートはそれぞれマネージング・エージェントによって運営されている。このシンジケートを組んでの引受方式は、伝統的な保険会社による引受方式とは異なる。A.M.Best社によれば、2018年、ロイズはサープラスライン市場の23.6%を占め、保険料にして118億ドルを引き受けた（下図参照）。ロイズは独特な方式をとっているため、A.M.Best社はランキングに含めていない。ロイズでボリュームの大きいサープラスライン種目は、事業用動産、総合賠償責任、サイバーおよび専門職業賠償責任である。

### 米国におけるサープラスラインの引受け上位25グループの元受正味保険料：2018年（単位：千ドル）

順位	グループ名	元受収入保険料	米国内 マーケットシェア (%)
	Lloyd's Market <sup>1</sup>	11,755,285	23.6
1	American International Group	3,548,994	7.1
2	Markel Corporation Group	2,496,504	5.0
3	Berkshire Hathaway Ins. Group	2,198,681	4.4
4	W. R. Berkley Insurance Group	1,808,925	3.6
5	Nationwide Group	1,802,256	3.6
6	Chubb INA Group	1,474,717	3.0
7	AXA U.S. Group	1,443,759	2.9
8	Fairfax Financial (USA) Group	1,410,796	2.8
9	Liberty Mutual Insurance Companies	1,259,268	2.5
10	Alleghany Insurance Holdings Group	889,047	1.8
11	Zurich Financial Services Group NA	857,245	1.7
12	Argo Group	814,328	1.6
13	Tokio Marine U.S. PC Group	786,331	1.6
14	QBE Americas Group	735,075	1.5

(続く)

## 6. 損害保険業界の財務データ サープラスライン／集中度

### 米国におけるサープラスラインの引受け上位 25 グループの元受正味保険料：2018 年（続き）

順位	グループ名	元受収入保険料	米国内 マーケットシェア (%)
15	Sompoホールディングス U.S. Group	717,619	1.4
16	AXIS U.S. Operations	684,316	1.4
17	James River Group	661,454	1.3
18	Starr International Group	634,174	1.3
19	Great American P&C Group	633,022	1.3
20	CNA Insurance Compani	572,259	1.1
21	Swiss Reinsurance Group	563,396	1.1
22	Aspen U.S. Insurance Group	545,449	1.1
23	Arch Insurance Group	453,668	0.9
24	Navigators Insurance Group	434,687	0.9
25	Everest Re U.S. Group	410,803	0.8
<b>上位25社合計</b>		<b>39,181,255</b>	<b>79.4</b>
<b>米国サープラスサイン市場合計</b>		<b>49,890,353</b>	<b>100.0</b>

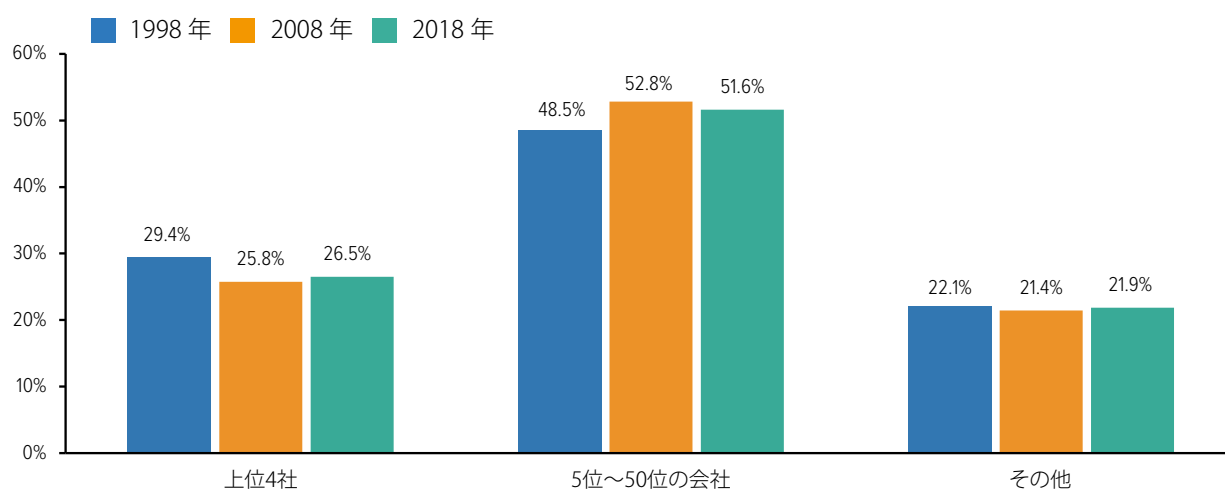
<sup>1</sup> 独特な引受方式のため、ロイズはこのランキングには含まれていない。

出典：A.M.Best data and Research

## 集中度

S&P Global Market Intelligence 社によれば、損害保険分野の集中度は、Herfindahl-Hirschman Index (HHI：ハーフィンダール・ハーシュマン・インデックス) を用いた場合、1998 年の 346.0 から 2008 年には 302.3 に低下した。2018 年には、指数は横ばいの 302.2 となっている。米国司法省は、同指数が 1,500 以下の場合、市場集中は見られない、と分類している。同指数が 2,500 超の場合、市場は高度に集中していることを意味する。

### 保険会社の規模別マーケットシェアの動向：1998 年～2018 年<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 元受正味保険料ベース。州基金およびその他の残余市場保険会社を除く。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 再保険

再保険とは本質的に保険会社のための保険であり、予測不能な、あるいは異常損害から元受保険者を守る機能を果たしている。再保険は、特定のリスクに起因する支払責任を限定し、個別保険会社の引受キャパシティを増加させるといった機能を果たすほか、損益マージンが大幅に変動する保険業特有の環境下において保険会社の業績を安定させる一助にもなっている。

### 米国損害再保険会社の正味収入保険料：2009年～2018年（単位：千ドル）

年	正味収入保険料	増率(%)	コンバインド・レシオ <sup>1</sup>	変化率(ポイント)
2009	25,548,851	-3.4	92.3	-8.1
2010	25,722,426	0.7	94.5	2.2
2011	27,897,553	8.5	107.1	12.6
2012	31,649,616	13.4	96.2	-10.9
2013	29,144,853	-7.9	86.8	-9.4
2014	50,012,241 <sup>2</sup>	71.6	91.0	4.2
2015	41,466,073	-17.1	92.3	1.3
2016	42,507,830	2.5	95.1	2.8
2017	48,967,222	15.2	108.4	13.3
2018	63,153,563	29.0	103.3	-5.1

<sup>1</sup> 契約者配当後。

<sup>2</sup> National Indemnity Co. 社のロス・ポートフォリオおよび関連会社である GEICO 社と締結している比例再保険契約を含む。

出典：米国再保険協会

### 米国損害再保険会社の米国業務上位10社、総収入保険料順：2018年（単位：千ドル）

順位	会社名 <sup>1</sup>	親会社所在国	総収入保険料
1	National Indemnity Company (Berkshire Hathaway) <sup>2</sup>	米国	27,120,095
2	Everest Reinsurance Co.	バミューダ	6,566,729
3	Munich Re America, Corp.	ドイツ	5,504,986
4	XL Reinsurance America Inc.	フランス	5,467,883
5	Swiss Reinsurance America Corp.	スイス	4,327,058
6	Transatlantic Reinsurance Co.	米国	3,951,542
7	Odyssey Group	カナダ	3,086,228
8	General Reinsurance Corp.	米国	2,644,515
9	Partner Re Co. of the U.S.	バミューダ	1,979,309
10	SCOR US Corporation	フランス	1,821,872

<sup>1</sup> グループに含まれる関連会社の一覧は、<https://www.reinsurance.org/> 所収の Reinsurance Underwriting Review 2018 の注を参照のこと。

<sup>2</sup> 関連会社である General Re Group からの受再を除く。

出典：米国再保険協会



## 州別保険料

### 州別保険料

元受収入保険料は、再保険取引前の保険料である。他方、正味収入保険料は、再保険取引後の保険料となっている。

#### 州別元受収入保険料、損害保険、2018年<sup>1</sup>（単位：千ドル）

州	全種目合計	州	全種目合計
アラバマ	8,925,293	モンタナ	2,556,685
アラスカ	1,606,192	ネブラスカ	5,011,116
アリゾナ	11,672,535	ネバダ	5,722,920
アーカンソー	5,460,429	ニューハンプシャー	2,493,214
カリフォルニア	80,948,048	ニュージャージー	21,986,266
コロラド	13,330,484	ニューメキシコ	3,524,882
コネティカット	8,814,625	ニューヨーク	48,303,680
デラウェア	2,788,295	ノースカロライナ	16,449,705
ワシントンD.C.	1,976,400	ノースダコタ	2,565,272
フロリダ	53,805,330	オハイオ	17,102,142
ジョージア	21,523,269	オクラホマ	8,336,375
ハワイ	2,590,554	オレゴン	7,385,012
アイダホ	2,984,349	ペンシルバニア	25,284,026
イリノイ	25,990,547	ロードアイランド	2,490,665
インディアナ	11,622,786	サウスカロライナ	10,163,622
アイオワ	6,572,681	サウスダコタ	2,434,835
カンザス	6,685,306	テネシー	11,895,823
ケンタッキー	7,833,758	テキサス	58,671,521
ルイジアナ	11,995,270	ユタ	5,050,843
メイン	2,361,248	バーモント	1,287,338
メリーランド	12,254,030	バージニア	14,309,735
マサチューセッツ	15,524,235	ワシントン	12,820,723
ミシガン	19,940,205	ウェストバージニア	3,095,270
ミネソタ	11,897,630	ウイスコンシン	10,848,048
ミシシッピ	5,390,424	ワイオミング	1,214,919
ミズーリ	12,020,354	<b>全米<sup>2</sup></b>	<b>667,518,914</b>

<sup>1</sup> 再保険取引前、州基金を含むが、属領を含まない。

<sup>2</sup> 米国全体のデータは、S&P Global Market Intelligence 社の様々な図表を使用しているため、別の箇所を示されている保険料合計とは一致しない場合がある。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会



S&P Global Market Intelligence 社によれば、2018年の元受収入保険料は、カリフォルニア州が最も多く、テキサス州、フロリダ州、ニューヨーク州、イリノイ州がこれに続いた。

2018年、全米では元受収入保険料は5.3%の増加であった。

## 6. 損害保険業界の財務データ 州別発生損害額

### 州別発生損害額

損害保険会社は保険金請求に対し、毎年何十億ドルもの支払いをおこなっている。支払保険金の多くは自動車修理会社をはじめとする業者に支払われ、交通事故や火災、暴風雨、その他の事故等で負傷し、あるいは財物損害を被った保険金請求者の生活再建を助ける。地元企業に支払われることで、従業員への支払いや税金納付等の資金の一部となって地元経済を支える。損害保険の保険金が支払われると、資金は保険金請求者の生活再建や業務復旧に必要な物品やサービスを提供する業界に流れる。下表は発生損害額、つまり所定の期間内に発生した損害額を示したものであって、当該期間内に損害調査が行われたか否か、保険金が支払われたか否かを問わない。

#### 州別発生損害額、損害保険：2018年<sup>1</sup>（単位：千ドル）

州	発生損害額	州	発生損害額	州	発生損害額
アラバマ	5,403,593	ルイジアナ	6,360,741	オクラホマ	4,043,739
アラスカ	913,240	メイン	1,114,748	オレゴン	3,518,503
アリゾナ	6,869,366	メリーランド	7,766,651	ペンシルバニア	14,543,588
アーカンソー	3,240,912	マサチューセッツ	7,971,753	ロードアイランド	1,433,537
カリフォルニア	56,835,067	ミシガン	13,001,444	サウスカロライナ	5,587,254
コロラド	11,163,576	ミネソタ	6,374,792	サウスダコタ	1,356,756
コネティカット	5,076,488	ミシシッピ	2,805,252	テネシー	5,857,635
デラウェア	1,421,548	ミズーリ	6,579,523	テキサス	31,165,197
ワシントンD.C.	932,665	モンタナ	1,389,000	ユタ	2,703,200
フロリダ	38,581,454	ネブラスカ	2,660,217	バーモント	631,895
ジョージア	13,938,391	ネバダ	4,058,416	バージニア	8,389,610
ハワイ	1,167,833	ニューハンプシャー	1,255,000	ワシントン	6,986,590
アイダホ	1,817,885	ニュージャージー	12,843,320	ウェストバージニア	1,755,893
イリノイ	14,531,584	ニューメキシコ	2,258,969	ウィスコンシン	6,083,560
インディアナ	5,837,873	ニューヨーク	27,755,699	ワイオミング	851,329
アイオワ	4,465,075	ノースカロライナ	12,491,658		
カンザス	3,503,390	ノースダコタ	1,213,388		
ケンタッキー	4,417,634	オハイオ	8,346,182	<b>全米</b>	<b>401,272,611</b>

<sup>1</sup> 所定の期間内に発生した損害額を示したものであって、当該期間内に損害調査が行われたか否か、保険金が支払われたか否かを問わない。再保険前の元受ベース。

出典：S & P Global Market Intelligence 社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

## 支払保証基金

50州のすべて、ワシントンD.C.、プエルトリコおよびバージン諸島では、支払能力のある保険会社が破綻した保険会社の保険金支払いをカバーする手段が用意されている。ニュージャージー州、ニューヨーク州、ペンシルベニア州等のいくつかの州では、労働者災害補償の別個の事前賦課基金を有している。ニューヨーク州は、事前賦課制度を有しており、同制度では、破綻保険会社の保険金支払債務を履行するのに翌年いくらか必要かを決定するために、毎年推定を行っている。フロリダ州では、破綻した労働者災害補償保険会社やキャプティブ保険会社の保険金支払いをカバーする事後賦課基金を有している。

支払保証基金によりカバーされる損害保険種目および1件当たりの支払限度額は、州によって様々である。賦課金は、当期破綻した保険会社だけでなく、過去に破綻した保険会社の保険金支払いにも充てられる。生命保険では、同様の制度が全米生命・健康保険保証協会によって運営されている。

### 損害保険支払保証基金正味賦課金 :2009年～2018年

(単位：ドル)

年	正味賦課金 <sup>1</sup>	年	正味賦課金 <sup>1</sup>
2009	554,061,688	2015	458,510,638
2010	219,349,059	2016	392,031,219
2011	138,898,346	2017	469,164,131
2012	450,429,770	2018	225,560,454
2013	456,953,717		
2014	483,844,426	<b>開始以降2018年 までの合計<sup>2</sup></b>	<b>17,793,857,623</b>

<sup>1</sup> 還付金・軽減額控除後

<sup>2</sup> 1978年以前の正味賦課金を含む。

出典：全米支払保証基金会議



支払保証基金正味賦課金額は、2018年、2億2,600万ドルと前年の4億6,900万ドルより52%の減少となった。

2018年の正味賦課金額は、2011年の1億3,900万ドル以降で最低となった。

## 6. 損害保険業界の財務データ 支払保証基金

### 州別損害保険支払保証基金正味賦課金：2018年（単位：ドル）

州	正味賦課金 <sup>1</sup>	州	正味賦課金 <sup>1</sup>
アラバマ	13,494,453	モンタナ	0
アラスカ	3,810,653	ネブラスカ	0
アリゾナ	0	ネバダ	5,000,000
アーカンソー	0	ニューハンプシャー	0
カリフォルニア	0	ニュージャージー	122,639,890
コロラド	0	ニューメキシコ	0
コネティカット	4,734,081	ニューヨーク	NA
デラウェア	332,400	ノースカロライナ	0
ワシントンD.C.	0	ノースダコタ	0
フロリダ	0	オハイオ	0
ジョージア	0	オクラホマ	0
ハワイ	0	オレゴン	0
アイダホ	0	ペンシルバニア	62,600,000
イリノイ	0	ロードアイランド	-1,717,942
インディアナ	5,350,000	サウスカロライナ	0
アイオワ	0	サウスダコタ	0
カンザス	0	テネシー	0
ケンタッキー	3,500,000	テキサス	0
ルイジアナ	0	ユタ	0
メイン	1,800,000	バーモント	450,000
メリーランド	0	バージニア	700,000
マサチューセッツ	0	ワシントン	366,919
ミシガン	0	ウェストバージニア	2,500,000
ミネソタ	0	ウィスコンシン	0
ミシシッピ	0	ワイオミング	0
ミズーリ	0	<b>全米</b>	<b>225,560,454</b>

<sup>1</sup> 還付金・軽減額（手元資金が保険金請求充実に十分な場合、賦課金の未請求部分に対する請求権を放棄すること）控除後。

NA = データ入手不能。

出典：全米支払保証基金会議